

■ 支部 だ よ り ■	
--------------	--

東海・近畿・北陸支部のうごき

1. 第22回支部研究会

- ・開催日時：平成20年2月7日～8日(木・金)
- ・会場：大阪市アピオ大阪(1日目), 大阪市立環境科学研究所(2日目)
- ・〔一般〕
 - (1) ICP-MSによる6価クロムの高感度分析法の検討 松本光弘(奈良県)
 - (2) 大阪港における船底防汚塗料による汚染の現状 張野宏也(大阪市)
 - (3) 大和川(奈良県)水系のN-BODについて 植本寛典(奈良県)
 - (4) 水生昆虫等による魚類へい死事故原因解明に関する研究 坊 栄二(福井県)
 - (5) 牡蠣殻を用いた硝化反応に関する研究 小西秀則(石川県)
 - (6) 岐阜県の土壌・地下水汚染の現状とその対策への取組について 佐々木正人(岐阜県)
 - (7) 新しく開通した県道周辺の環境振動について 田中 進(愛知県)
 - (8) 名古屋市におけるダイオキシン類の大気降下量 大場和生(名古屋市)
 - (9) 京都府内のダイオキシン類環境測定にかかる分析委託業者に対する精度管理事業について 鳥居南豊(京都府)
 - (10) Webブラウザのデータバインド機能を利用した簡易ダイオキシンデータベースの作成について 村瀬秀也(岐阜県)
 - (11) 排ガス中ダイオキシン類の指標としての有機ハロゲン化合物に関する研究 高倉晃人(大阪市)
 - (12) LC/MSを用いた環境大気中のデカブプロモジフェニルエーテル調査 松井利夫(福井県)
 - (13) 大気中VOCsの冬期高濃度要因の検討 山本暁人(京都市)
 - (14) 大阪府の浮遊粒子状物質調査結果について 今立高廉(大阪府)
 - (15) 富山県におけるオキシダント高濃度の特徴 近藤隆之(富山県)
 - (16) 黄砂飛来時のPAHs成分について 西山 亨(三重県)
 - (17) 大阪市内で観測された黄砂粒子の化学性状について 船坂邦弘(大阪市)
 - (18) 大阪府における大気汚染物質の広域移流の影響について 和田峻輔(大阪府)
- ・〔報告と意見交換〕
「広域越境汚染に関する取り組みについて」
(座長)山本 攻(大阪市)

2. 第10回近畿ブロック「有害化学物質部会」

- ・開催日時：平成20年2月8日(金)13:30～17:30
- ・会場：大阪市立環境科学研究所会議室
- ・アンケート報告：有害化学物質に関わる組織体制, 担当者年齢構成, 所有測定機器台数の集計結果報告。
- ・意見交換会
 - (1) 要監視項目(塩化ビニルモノマー, エピクロロヒドリン)の実施状況と測定方法
 - (2) PFOA, PFOS 汚染の実態調査について
 - (3) 環境中の医薬品調査の実施状況について
 - (4) 健康危機発生時の対応について
 - (5) 技術継承について
 - (6) 情報共有について(エコ調査の情報ネットワーク構築など)
- ・話題提供
 - (1) Webブラウザのデータバインド機能を利用した簡易ダイオキシンデータベースの作成について～デモによる操作手順の詳細説明 村瀬秀也(岐阜県)
 - (2) 名古屋市におけるダイオキシン類の大気降下量 大場和生(名古屋市)
- ・次期開催県：大阪府

3. 第42回水環境学会年会併設 全環研協議会研究集会「明日の地環研を考える」

- 水環境学会において、全環研協議会企画部会と共同で「明日の地環研を考える」をテーマとした研究集会を開催し、東海・近畿・北陸支部が全面協力した。
- ・主催：第42回日本水環境学会年会実行委員会, 全国環境研協議会企画部会
 - ・開催日時：2008年3月21日(金)13:00～15:00
 - ・会場：第42回日本水環境学会年会会場(名古屋大学工学研究科2号館)
 - ・内容
 - I部 講演 座長 駒井幸雄(大阪工業大学)
 - ①地環研の現状と展望—地域に根ざした知と技術の拠点をめざして— 古武家善成(兵庫県)
 - ②地域の水環境を考える—サンゴ礁海域の水質指針— 宮城俊彦(沖縄県)
 - ③地方研の分析業務のアウトソーシング化とデータのクロスチェックについて 高田文子(愛知県)
 - II部 フリーディスカッション「明日の地環研を考える」 座長 坪内 彰(福井県)